

AICPA Financial Reporting Center

Audit Data Standards 監査データ標準

Fixed Asset Subledger Standard

2017年12月版



AuditDataStandards.FixedAssets.December2017

監査データ標準(固定資産編)(2017年12月)

Prepared by the AICPA Assurance Services Executive Committee

Emerging Assurance Technologies Task Force

Copyright © 2017 by American Institute of Certified Public Accountants, Inc. New York, NY 10036-8775

Permission is granted to make copies of this work provided that such copies are for personal, intraorganizational, or educational use only and are not sold or disseminated and provided further that each copy bears the following credit line:

本資料の複製は、個人利用、社内利用、または教育目的の場合のみ、かつ、販売または流布および提供目的ではない場合に、複製物に以下の文言を含めることで許可される。

“Copyright © 2017 by American Institute of Certified Public Accountants, Inc. Used with permission.”

Copyright © 2017 by American Institute of Certified Public Accountants. All rights reserved. Translated with permission.

なお、日本語の本仮翻訳は、AICPA の許可のもと、XBRL Japan 開発委員会 ADS サブワーキング (SWG リーダー 公認会計士 木村章展) が実施をした。英語の原文が正である。今後、AICPA での ADS の改訂などを受けて、予告なく翻訳を改訂する場合もある。

Assurance Services Executive Committee (2016 - 2017)

Robert Dohrer, *Chair*
Bradley Ames
Christine M. Anderson
Bradley Beasley
Nancy Bumgarner
Jim Burton
Chris Halterman

MaryGrace Davenport
Jennifer Haskell
Brad Muniz
Michael Ptasienski
Joanna Purtell
Miklos Vasarhelyi

**Emerging Assurance Technologies Task Force
Audit Data Standard & Audit Data Analytics Working Group**

William R. Titera, Chair
Joel Pinkus, Lead
Paul Barbour
Karl Busch
Cheryl Caldwell
Eric E. Cohen
Brian Collins
Hunter Cook

Paul Demastus
Robert Dohrer
Kristine Hasenstab
Dale Livezey
Mark Mayberry
Josh Phillips
Daniel Shorstein
Miklos Vasarhelyi

Additional Contributors

Nicola Dalla Via

AICPA Staff

Amy Pawlicki
Vice President
Assurance & Advisory Innovation

Ami Beers
Director
Assurance and Advisory Services, Corporate
Reporting

Dorothy McQuilken
Senior Manager
Audit Data Analytics and ERM

Audit Data Standards 監査データ標準

標準化の利点はよく認識され、様々な一般的な IT 標準の開発に結びついている。データ標準は、企業¹データを効率的に交換する際に、マネジメント層や、内部監査人および外部監査人が直面する継続した問題に対処するために必要である。このプロセスは、経理部門および IT 人員が異なる観点からこのような情報を要求することから複雑になる。例えば、ある場合には、監査関連のデータ依頼は、経理部門からより関与に制限のある企業の IT 部門へ直接転送される。多くの場合では、監査人にとってデータ要求は負担である。

AICPA アシュアランスサービスエグゼクティブ委員会は監査および他の関連する目的のために一般に要求されるファイルとフィールドのためのフォーマットの標準化によって監査プロセスの効率性および有効性にこの監査データ標準(ADS)が貢献するだろうと考えている。同様に、もし企業が内部監査人および外部監査人などとデータを共有することを決めれば、標準化された情報(債権者のような)の他の消費者も利益を得るであろう。大企業、そして中小企業、公開若しくは非公開企業は、監査データ標準の適用からさらに利益を得るかもしれない。監査人によって定期的に要求されたデータの標準化によって、企業は情報の要求プロセスを自動化し、複製することができ、それによって、要求されたデータを提供するのに必要な時間と労力を減らすことができる。さらに、企業のスタッフおよび内部監査人は、内部目的のための標準化されたデータを利用することにより強化された解析能力から利益を得るであろう。さらに、この標準により外部監査人が行う強化されたデータ分析にもこのデータの利用が可能になる。

これらの標準は、良く設計された会計および財務報告システムに導入することができるすぐれた慣行である。この公表物では固定資産台帳の監査データ標準について提示する。

監査データ標準はテクニカル・デザイン(ファイル、テーブル、フィールド、フォーマットなど)、およびその使用についての理解にとって不可欠なデータに関する補足的質問を提示している。前者は、通常 IT システム設計に対して提示されることが適している。後者は、一般的に経理あるいは財務担当者によって、IT 担当者からの入力による情報が提供される。これらが情報の抽出のための任意の推奨されたデータ標準であることに留意すること。これらのデータ抽出標準は必須のものではない。また、権威のある監査あるいは会計基準から提示されたものでもない。

特に規模および産業特性により、均一性の価値および個々の企業への適応の利点を認識して、これらの標準は、ある程度の柔軟性を提供する。これらの標準は、各国特有の要件に対応しており、国際的な適用が可能である。これは最低の標準で、制限するのが目的ではない。したがって、ユーザはユーザ定義のフィールドをカスタマイズして、作成してもよい(例えば、項目は除かれるべきではないが、まだ標準になっていない項目は追加してもよい)。しかしながら、標準化(特に示されなかった時)の利点を達成するために、個々のカスタマイゼーションは回避されるべきである(言い換えれば、項目が標準に定義されている場合は、それを再定義しない)。一旦企業が特定の取り決めを採用すれば、主な IT システムの変更の実施や標準化されたデータの供給者および利用者の相互に合意された拡張がない限り、一貫してこの取り決めによってそのデータを提供するべきである。

¹ この表現としての企業は、企業、パートナーシップ、政府機関、非営利事業体などを表現するために意図され、営利団体に限定されるものではないことに留意する。

監査データ標準の仕様は、そのデータ標準の設計者が携わった大多数のシステムからの要求を基に設計された。つまり、フラットファイル(パイプ区切り)のフォーマットでは、「反復性」がある特定のフィールドは特定の数字で固定されたことを意味する。次のような場合である。

- 監査データ標準(基礎編)の Business_Unit_Listing:
 - Business_Unit_Hierarchy[1] - [5]
- 監査データ標準(総勘定元帳編)等の GL_Detail_YYYYMMDD_YYYYMMDD:
 - Segment[01] - [05]
- 監査データ標準(売掛債権編)または(受注・入金編)の Customer_Master_YYYYMMDD:
 - 住所および請求先住所
- 監査データ標準(仕入・支払編)等の Invoices_Received_YYYYMMDD_YYYYMMDD:
 - GL_Debit_Account_Number および GL_Credit_Account_Number

最後の例では、入力行には貸方および借方の勘定科目がある。詳細ではなく概要を生成する場合、全請求書には以下の場合を除いて貸方および借方の組が 1 つのみ存在する。

1. 監査人および被監査会社が、詳細行の最後に貸方および借方の勘定科目を付加することと、そのフォーマットで問題ないと同意した場合
2. パイプ区切りのフォーマットではなく、XBRL GL フォーマットが使用される場合。XBRL GL カラムの注釈に記載される通り、XBRL GL はフラットファイルフォーマットよりも多くの項目を許可するデータ表現方法を採用している。

さらに複雑で階層的または重複する項目が必要になる場合、XBRL GL は監査データ標準を使用した共有データを表現するにはより実用的なフォーマットである。

監査データ標準を導入する企業は、最初に支援のためにエンタープライズ・リソース・プランニング(ERP)か会計パッケージベンダと連絡をとるべきである。ベンダが監査データ標準の適用に対して解決策を持たない場合、ベンダは監査データ標準にマッピングするために利用することができるスクリプトを作成しているため、それを使用してデータを抽出、変換、ロード(または ETL)する。

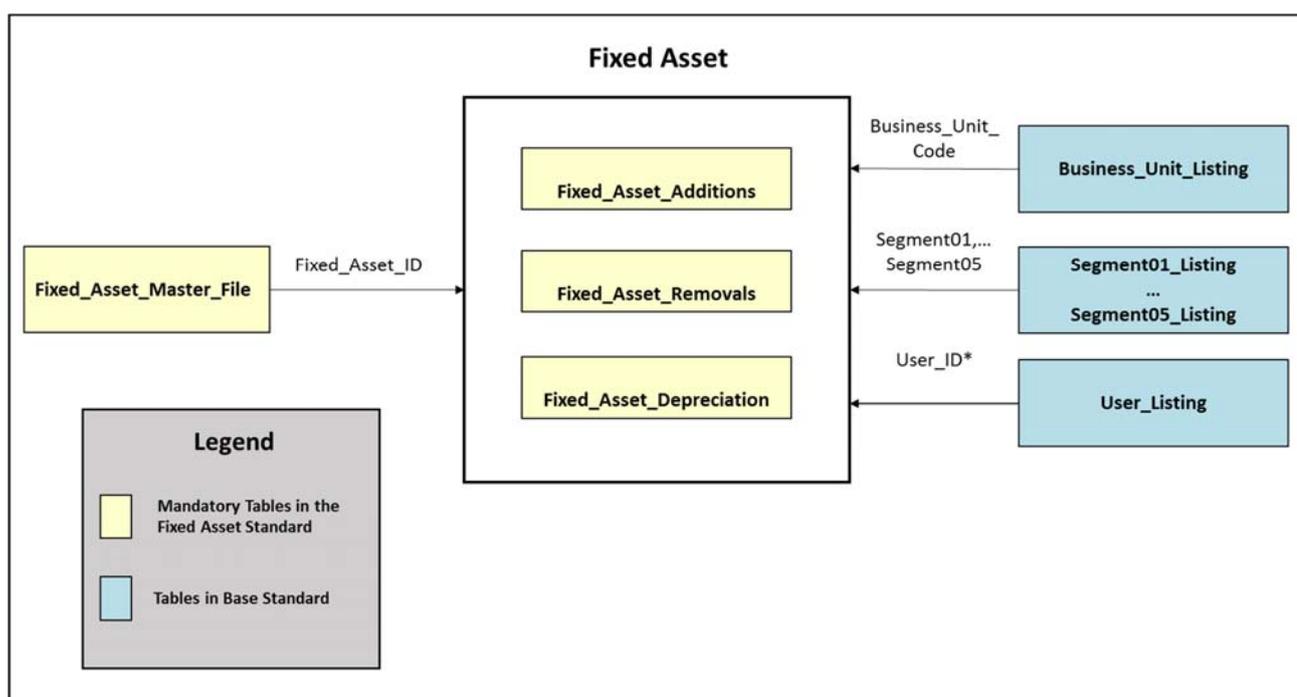
これらのデータ標準を導入する前に、職務分離のテストと内部統制の利用を通じてデータの信頼度が評価されるべきである。これらのタイプの評価標準のためのガイダンスは aicpa.org で入手可能である。

1. 固定資産台帳の監査データ標準

固定資産台帳の監査データ標準は、固定資産プロセスの基本的な分析に適用することを意図している。この標準は、内部プロセスを改善するために企業のスタッフおよび内部監査によって行なわれるかもしれない分析と同様に監査の一部として行なわれる分析を促進することを意図している。この標準の更新版では、さらに詳細かつ業種特有の内容が追加され、分析のための機会が拡大される可能性がある。

固定資産台帳の標準監査データは関連情報を含んでいる多数のテーブルで定義される。図2は、固定資産台帳の監査データ標準のテーブル間の関係を示すデータ・ダイアグラムである。AICPAのウェブサイトにある監査データ標準(基礎編)と共に固定資産台帳の監査データ標準が使用されるべきであることに留意することが重要である。

図2: 固定資産台帳の監査データ標準におけるテーブル間のデータの関係



*The User_Listing table can be joined to three fields, all of which contain a UserID-Entered_By, Approved_By, Last_Modified_By

固定資産台帳の監査データ標準の各テーブル内にあるデータフィールドの「レベル」カラムには、データの重要性を示す「1」あるいは「2」のどちらか一方のラベルがある。第1レベルの項目は必須である(ITシステムか追加の手段によって利用可能な場合)。第2レベルの項目は推奨されるが、必ずしも入手可能だとは限らないかもしれない。利用可能ではないフィールドは別途指定されるべきである。AICPAのウェブサイトにある[監査データ標準\(基礎編\)](#)と共に固定資産台帳標準が使用されるべきであることに留意することが重要である。

以下に続くセクションでは、固定資産台帳の監査データ標準の詳細を示す。

2.0 固定資産の標準化データ²

2.1 Fixed_Asset_Master_File_YYYYMMDD

2.2 Fixed_Asset_Additions_YYYYMMDD_YYYYMMDD

2.3 Fixed_Asset_Removals_YYYYMMDD_YYYYMMDD

2.4 Fixed_Asset_Depreciation_YYYYMMDD_YYYYMMDD

² テーブルに2つの日付を含む場合、その日付は抽出期間の開始日と終了日を表すことに留意する。テーブルに1つの日付を含む場合、その日付はデータ抽出日である。

2.1 Fixed_Asset_Master_File_YYYYMMDD

Fixed_Asset_Master_File_YYYYMMDDテーブルには保有している固定資産を識別するために使用する場所情報と商品情報が含まれる。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
1	Business_Unit_Code	1	TEXT	25	gl-cor:accountSubID と Business_Unit の glcor:accountSubType	財務諸表が監査対象となるレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。 Business_Unit_Listing ファイル内の Business_Unit_Code と一致しなければならない。
2	Location_ID	1	TEXT	75	For XBRL GL, A location that is forced to be unique isn't a single field; concatenate the Business_Unit_Code and Location_Codes' s XBRL GL concepts to tie back (need to consider interrelationships with other files).	組織を表す一意の識別子。 Business_Unit_Code や Location_Code などの項目を連結する必要がある場合がある。
3	Location_Code	1	TEXT	25	gl-bus:organizationAddressLocationIdentifier	固定資産の場所を、組織レベルではなく、地域で識別するために使用するコード。
4	Location_Description	2	TEXT	100	gl-bus:organizationAddressDescription	Location_Code で識別される場所についてのテキストによる説明。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
5	Fixed_Asset_ID	1	TEXT	100	For XBRL GL, Fixed_Asset_Code isn't forced to be unique; concatenate the Business_Unit_Code and Fixed_Asset_Code's XBRL GL concepts to tie back (need to consider interrelationships with other files)	一意の識別子。「Business_Unit_Code + Fixed_Asset_Code」のような連結が必要な場合がある。
6	Fixed_Asset_Code	1	TEXT	25	gl-bus:measurableID where gl-bus:measurableCode = "FA"	この固定資産を追跡するためのローカルレベルの内部 ID。
7	Fixed_Asset_Description	1	TEXT	100	gl-bus:measurableDescription	固定資産の説明。
8	Fixed_Asset_Bar_Code	2	TEXT	25	gl-bus:measurableIDOther	UPC やその他の外部の識別子。第 1 ベンダの製品コードなど
9	Serial_Number	2	BOOLEAN	5	For XBRL GL, Serial Number and Lot Number are not two separate Boolean fields, but a selection from an enumerated value and an associated freeform field. For serial only, select "serial" from gl-ehm:serialLotCode	シリアル番号により追跡される。true または false。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
					(enumerated: serial, lot, other, neither)and leave gl-ehm:serialLotDescription (freeform) blank.For both serial and lot tracked, use “other” from gl-ehm:serialLotCode and enter SerialAndLot for gl-ehm:serialLotDescription	
10	Lot_Number	2	BOOLEAN	5	For XBRL GL, Serial Number and Lot Number are not two separate Boolean fields, but a selection from an enumerated value and an associated freeform field.For lot only, select “lot” from gl-ehm:serialLotCode (enumerated: serial, lot, other, neither)and leave gl-ehm:serialLotDescription (freeform) blank.For both serial and lot tracked, use “other” from gl-ehm:serialLotCode and	ロット番号により追跡される。true または false。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
					enter SerialAndLot for gl-ehm:serialLotDescription	
11	Manufacturer_ID	2	TEXT	100	gl-ehm:serialLotManufacturer	固定資産の製造元。
12	Vendor_ID	2	TEXT	100	gl-cor:identifierCode for internal # with gl-cor:identifierType = "vendor"	固定資産の第1ベンダを表す一意の識別子。Vendors ファイル内の Vendor_ID と一致しなければならない。
13	Fixed_Asset_Group_01	2	TEXT	25	gl-bus:measurableCategory	固定資産グループの記述子(01)。例: プロジェクト。
14	Fixed_Asset_Group_02	2	TEXT	25	Add as subcategory to glbus:measurableCategory using pipe () delimiter.	固定資産グループの記述子(02)。
15	Fixed_Asset_Class	1	TEXT	25	gl-ehm:measurableClassID (enumerated) to include codes from Inv and PPE (for example, raw material, WIP, finished goods, land, building, F&, etc.), gl-ehm:measurableClassDescription (freeform)	固定資産の分類。例: 土地、建物、機械。
16	Fixed_Asset_Quantity_On_Hand	1	NUMERIC		gl-bus_measurableQuantity	手元にある固定資産品目の数量。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
17	Fixed_Asset_Original_Cost	1	NUMERIC		Using gl-bus:measurableCostPer Unit in a parallel measurable structure with gl-bus:measurableQualifier = "original_cost"	固定資産の取得価額。
18	Fixed_Asset_Replacement_Cost	2	NUMERIC		Using gl-bus:measurableCostPer Unit in a parallel measurable structure with gl-bus:measurableQualifier = "replacement_cost"	固定資産の取替費用。
19	Fixed_Asset_Fair_Value	2	NUMERIC		Using gl-bus:measurableCostPer Unit in a parallel measurable structure with gl-bus:measurableQualifier = "fair_value"	固定資産の公正価値。
20	Fixed_Asset_Depreciable_Basis	2	NUMERIC		Using gl-bus:measurableCostPer Unit in a parallel measurable structure with gl-bus:measurableQualifier = "depreciable_basis"	固定資産の減価償却の基礎となる額。
21	Fixed_Asset_Salvage_Value	2	NUMERIC		Using gl-bus:measurableCostPer Unit in a parallel	固定資産の残存価額。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
					measurable structure with gl-bus:measurableQualifier = "salvage_value"	
22	Fixed_Asset_Net_Book_Value	2	NUMERIC		gl-cor:amount (As this is the value that ties to books, it is the primary amount. Other amounts are placed in parallel measurable structures.)	固定資産の正味帳簿価額。
23	Fixed_Asset_Accumulated_Depreciation	1	NUMERIC		gl-bus:dmAmount	固定資産の減価償却累積額。
24	Fixed_Asset_Useful_Life	1	NUMERIC		gl-bus:dmLifeLength	固定資産の全耐用期間(月単位)。
25	Fixed_Asset_Useful_Life_Remaining	1	NUMERIC		Rather than remaining life in month, the ending date for depreciation is provided with gl-bus:dmEndDate	固定資産の残りの耐用期間(月単位)。
26	Currency_ID	1	TEXT	25	gl-muc:amountCurrency	この報告書で使用される通貨の識別子。
27	Fixed_Asset_Acquisition_Date	1	DATE		gl-ehm:serialLotOrigination	固定資産の購入日または取得日。
28	Fixed_Asset_Inactive_Flag	2	BOOLEAN		gl-bus:measurableActive	固定資産が無効(例: 未使用状態)かどうか、または固定資産のアカウントが無効(例: そのアカウントにその他のアクティビティを記帳

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
						すべきではないかどうかを示すフラグ。
29	Fixed_Asset_In_Service_Date	1	DATE		gl-bus:measurableStartDateTime	固定資産が事業の用に供した(使用を開始した)日。
30	Fixed_Asset_Retirement_Date	1	DATE		gl-bus:measurableEndDateTime	固定資産の使用終了日。
31	Fixed_Asset_Disposal_Date	1	DATE		gl-ehm:serialLotExpiration	固定資産の廃棄日。
32	Fixed_Asset_Available_for_Sale_Date	2	DATE		gl-cor:dateAcknowledged	固定資産の販売開始日。
33	Fixed_Asset_to_be_Abandoned_or_Disposed_of_Other_than_by_for_Sale_Date	2	DATE		gl-cor:confirmedDate	固定資産の使用停止日、廃棄日、使用終了日。
34	Fixed_Asset_Asset_Account	2	TEXT	100	Associate with account structure (first) where account content is stored in gl-cor:accountMainID and identified as “asset” using glcor:mainAccountType and gl-cor:mainAccountTypeDescription = “Fixed_Asset”	資産の使用開始後に貸借対照表での価額が確認される総勘定元帳の勘定科目番号。
35	Fixed_Asset_CIP_Account	2	TEXT	100	Associate with account structure (second) where account content is stored in gl-	資産の使用開始前に貸借対照表での価額が確認される総勘定元帳の勘定科目番号。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
					cor:accountMainID and identified as “asset” using glcor:mainAccountType and glcor:mainAccountTypeDescription = “CIP”	
36	Fixed_Asset_CIP_Flag	2	BOOLEAN		Indicate glcor:accountActive as “true” within the structure with reference to the Fixed_Asset_CIP_Account	報告日時点で CIP(建設仮勘定)として記録された固定資産であるかどうかを示すフラグ。
37	Fixed_Asset_Depreciation_Account	2	TEXT	100	Associate with account structure (third) where account content is stored in glcor:accountMainID and identified as “expense” using glcor:mainAccountType	減価償却費として損益計算書での計上額が確認される総勘定元帳の勘定科目番号。
38	Fixed_Asset_Accumulated_Depreciation_Account	2	TEXT	100	Associate with account structure (fourth) where account content is stored in glcor:accountMainID and identified as “liability” using glcor:mainAccountType	減価償却累積額として貸借対照表での計上額が確認される総勘定元帳勘定科目番号。
39	Fixed_Asset_Unrealized_Gain_Loss_Account	2	TEXT	100	Associate with account structure (fifth) where account content is	未実現損益額として貸借対照表での計上額が

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
					stored in glcor:accountMainID and identified as “gain” or “loss” using glcor:mainAccountType and and glcor:mainAccountTypeD escription = “unrealized”	確認される総勘定元帳の勘定科目番号。
40	Fixed_Asset_Realized_Gain_Loss_Account	2	TEXT	100	Associate with account structure (sixth) where account content is stored in glcor:accountMainID and identified as “gain” or “loss” using glcor:mainAccountType and and glcor:mainAccountTypeD escription = “realized”	実現損益額として損益計算書での計上額が確認される総勘定元帳の勘定科目番号。
41	Segment01	2	TEXT	25	XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using glcor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and glcor:accountSubType,	プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる準備されたセグメントフィールド。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
					respectively. Interrelations and hierarchies are captured by gl-cor:parentSubAccountType (What is the hierarchy type this unit rolls up to?)	
42	Segment02	2	TEXT	25	上記参照	同上
43	Segment03	2	TEXT	25	上記参照	同上
44	Segment04	2	TEXT	25	上記参照	同上
45	Segment05	2	TEXT	25	上記参照	同上

XBRL GLへの追加コメント

固定資産マスターファイルの場合、追加の必須または推奨フィールドには次が含まれる。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = "master_file"	XBRL GL の列挙に従って、このファイルをマスターファイルとして明示的に定義している。
gl-cor:entriesComment	value = "ads:Fixed_Asset_Master_File_YYYYMMDD"	[entriesComment]は情報収集に共通しているものを説明する説明フィールドであり、この表現に関連して収集するタイプの監査データ標準の名前空間と修飾子を導入する。監査データ標準の名前空間はこの監査データ標準の日付と版に関連する情報を付加して作成される。

2.2 Fixed_Asset_Additions_YYYYMMDD_YYYYMMDD

Fixed_Asset_Additions_YYYYMMDD_YYYYMMDD テーブルには、建設仮勘定での譲渡を含む固定資産の追加に関する基本的な属性が格納される。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
1	Business_Unit_Code	1	TEXT	25	gl-cor:accountSubID with glcor:accountSubType of “Business_Unit”	財務諸表が監査対象となるレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。 Business_Unit_Listing ファイル内の Business_Unit_Code と一致しなければならない。
2	Fixed_Asset_Unique_ID	1	TEXT	25	gl-cor:lineNumberCounter	追加入力の一意の識別子。
3	Addition_Type	1	TEXT	25	gl-cor:documentTypeDescription with gl-cor:documentType of other unless a receipt or shipment, in which case gl-cor:documentType of receipt or shipment	固定資産の追加タイプに関する説明(例：購入、譲渡)。
4	Fixed_Asset_ID	1	TEXT	100	For XBRL GL, this isn't a single field; use the Business_Unit_Code and Fixed_Asset_Code's XBRL GL concepts to tie back (need to	Fixed_Asset_Master_File_YYYYMMDD 内の有効なエントリである必要がある。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
					consider interrelationships with other files)	
5	Fixed_Asset_Addition_Date	1	DATE		gl-cor:documentDate	固定資産の購入日または取得日。
6	Fixed_Asset_Cost	1	NUMERIC		gl-cor:amount	取得した固定資産の取得価額。
7	Placed_In_Service	1	BOOLEAN		gl-bus:measurableActive	固定資産が使用開始しており、追加日に減価償却が開始されたかどうかを示す true/false フラグ。
8	Entered_By	1	TEXT	100	gl-cor:enteredBy	記録を残した人の(User_Listing ファイル内の)User_ID。
9	Entered_Date	2	DATE		gl-cor:enteredDate	取引がシステムに入力された日付。これは、時に作成日と呼ばれる。可能な場合、これは、(ユーザが入力した日付ではなく)システムで生成された日付にする必要がある。この日付は、必ずしも、実際の取引の日付に対応していない。
10	Entered_Time	2	TIME		Incorporated into above field using ISO 8601	この取引をシステムに入力した時間。ISO 8601 - 24時間制の時刻(HHMM)(例えば、PM1:00 = 1300)で表す。
11	Approved_By	2	TEXT	100	gl-bus:entryResponsiblePerson	入力を承認した人の(User_Listing ファイル内の)ユーザID。
12	Approved_By_Date	2	DATE		gl-usk:nextDateRepeat	入力が承認された日付。
13	Approved_By_Time	2	TIME		Incorporated into above field using ISO 8601	この取引をシステムに入力した時間。ISO 8601 - 24 時間制の時刻(HHMM)(例えば、PM1:00 = 1300)で表す。
14	Last_Modified_By	2	TEXT	100	gl-bus:enteredByModified	入力を承認した人の(User_Listing ファイル内の)ユーザ ID。
15	Last_Modified_By_Date	2	DATE		gl-usk:lastDateRepeat	入力が最後に変更された日付。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
16	Last_Modified_By_Time	2	TIME		Incorporated into above field using ISO 8601	入力が最後に変更された時間。ISO 8601 - 24 時間制の時刻(HHMM)(例えば、PM1:00 = 1300)で表す。
17	Serial_Number	2	TEXT	75	gl-ehm:serialLotNumber is used for either the serial or the lot number, and driven by the attributes of serial or lot.If both are required, the lot number is placed in gl-ehm:nextSerialLotNumber.	シリアル番号がある商品の場合は、シリアル番号はここに記録される。シリアル番号は共通用語だが、その価格は数値とは限らない。(ある商品を明白に識別する)シリアル番号とロット番号のどちらでも管理することは一般的ではないが、それら2つの番号が相互に排他的である必要もない。
18	Lot_Number	2	TEXT	75	gl-ehm:serialLotNumber is used for either the serial or the lot number, and driven by the attributes of serial or lot.If both are required, the lot number is placed in gl-ehm:nextSerialLotNumber.	ロット番号を表す場合は、ロット番号はここに記録される。ロット番号は共通用語だが、その価格は数値とは限らない。
19	Acquisition_Details	2	TEXT	100	gl-cor:detailComment	このフィールドには購入の際の注文番号、資産文書番号、簡単なテキスト形式の説明などが入る。
20	Segment01	2	TEXT	25	XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using gl-cor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and glcor:accountSubType, respectively.Interrelations and	プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる準備されたセグメントフィールド。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
					hierarchies are captured by gl-cor:parenSubAccountType.	
21	Segment02	2	TEXT	25	上記参照	同上
22	Segment03	2	TEXT	25	上記参照	同上
23	Segment04	2	TEXT	25	上記参照	同上
24	Segment05	2	TEXT	25	上記参照	同上

XBRL GLへの追加コメント

固定資産追加ファイルの場合、追加の必須または推奨フィールドには次が含まれる。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = "other"	XBRL GL のその他の固定リストである列挙値の1つではないことを示す。
gl-cor:entriesComment	value = "ads:Fixed_Asset_Additions_YYYYMMDD_YYYYMMDD"	[entriesComment]は情報収集に共通しているものを説明する説明フィールドであり、この表現に関連して収集するタイプの監査データ標準の名前空間と修飾子を導入する。監査データ標準の名前空間はこの監査データ標準の日付と版に関連する情報を付加して作成される。

2.3 Fixed_Asset_Removals_YYYYMMDD_YYYYMMDD

Fixed_Asset_Removals_YYYYMMDD_YYYYMMDD テーブルには固定資産の撤去、廃棄、帳消し、譲渡などのすべての除却に関する情報が格納される。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
1	Business_Unit_Code	1	TEXT	50	gl-cor:accountSubID with glcor:accountSubType of "Business_Unit"	財務諸表が監査対象となるレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。 Business_Unit_Listing ファイル内の Business_Unit_Code と一致しなければならない。
2	Unique_ID	1	TEXT	25	gl-cor:lineNumberCounter	除却に関する入力の一意的識別子。
3	Removal_Type	1	TEXT	25	gl-cor:documentTypeDescription with gl-cor:documentType of other unless a receipt or shipment, in which case gl-cor:documentType of receipt or shipment	固定資産の除却タイプに関する説明(撤去、廃棄、譲渡、抹消)。
4	Fixed_Asset_ID	1	TEXT	100	For XBRL GL, this isn't a single field; use the Business_Unit_Code and Fixed_Asset_Code's XBRL GL concepts to tie back (need to consider interrelationships with other files)	Fixed_Asset_Master_File_YYYYMMDD 内の有効なエントリである必要がある。
5	Fixed_Asset_Removal_Date	1	DATE		gl-cor:documentDate	固定資産の除却日。
6	Fixed_Asset_Removal_Cash_Proceeds_Amount	2	NUMERIC		Using gl-bus:measurableCostPerUnit in a parallel measurable structure with	固定資産の除却によって受領した現金の金額。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
					gl-bus:measurableQualifier = "cash_proceeds"	
7	Fixed_Asset_Removal_Non_Cash_Proceeds_Amount	2	NUMERIC		Using gl-bus:measurableCostPerUnit in a parallel measurable structure with gl-bus:measurableQualifier = "noncash_proceeds"	固定資産の除却によって受領した現金ではない受取価額。
8	Fixed_Asset_Unrealized_Gain_Loss_Amount	2	NUMERIC		Using gl-bus:measurableCostPerUnit in a parallel measurable structure with gl-bus:measurableQualifier = "unrealized_gain_loss"	固定資産の除却で貸借対照表に記録された未実現損益額。
9	Fixed_Asset_Realized_Gain_Loss_Amount	2	NUMERIC		Using gl-bus:measurableCostPerUnit in a parallel measurable structure with gl-bus:measurableQualifier = "realized_gain_loss"	固定資産の除却で損益計算書に記録された実現損益額。
10	Fixed_Asset_Unrealized_Gain_Loss_Account	2	TEXT	100	Associate with account structure (first) where account content is stored in gl-cor:accountMainID and identified as "gain" or "loss" using gl-cor:mainAccountType and gl-cor:mainAccountTypeDescription = "unrealized"	未実現損益額として貸借対照表での計上額が確認される総勘定元帳の勘定科目番号。
11	Fixed_Asset_Realized_Gain_Loss_Account	2	TEXT	100	Associate with account structure (second) where account content is stored in gl-cor:accountMainID and identified as "gain" or "loss" using glcor:mainAccountType and gl-cor:mainAccountTypeDescription = "realized"	実現損益額として損益計算書での計上額が確認される総勘定元帳の勘定科目番号。
12	Entered_by	1	TEXT	100	gl-cor:enteredBy	記録を残した人の(User_Listing ファイル内の)User_ID。
13	Entered_Date	2	DATE		gl-cor:enteredDate	取引がシステムに入力された日付。これは、時に作成日と呼ばれ

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
						る。可能な場合、これは、(ユーザが入力した日付ではなく)システムで生成された日付にする必要がある。この日付は、必ずしも、実際の取引の日付に対応していない。
14	Entered_Time	2	TIME		Incorporated into above field using ISO 8601	この取引をシステムに入力した時間。ISO 8601 - 24 時間制の時刻(HHMM)(例えば、PM1:00 = 1300)で表す。
15	Approved_By	2	TEXT	100	gl-bus:entryResponsiblePerson	入力を承認した人の(User_Listing ファイル内の)ユーザ ID。
16	Approved_By_Date	2	DATE		gl-usk:nextDateRepeat	入力が承認された日付。
17	Approved_By_Time	2	TIME		Incorporated into above field using ISO 8601	この取引をシステムに入力した時間。ISO 8601 - 24 時間制の時刻(HHMM)(例えば、PM1:00 = 1300)で表す。
18	Last_Modified_By	2	TEXT	100	gl-bus:enteredByModified	入力を承認した人の(User_Listing ファイル内の)ユーザ ID。
19	Last_Modified_By_Date	2	DATE		gl-usk:lastDateRepeat	入力が最後に変更された日付。
20	Last_Modified_By_Time	2	TIME		Incorporated into above field using ISO 8601	入力が最後に変更された時間。ISO 8601 - 24 時間制の時刻(HHMM)(例えば、PM1:00 = 1300)で表す。
21	Serial_Number	2	TEXT	75	gl-ehm:serialLotNumber is used for either the serial or the lot number, and driven by the attributes of serial or lot.If both are required, the lot number is placed in gl-ehm:nextSerialLotNumber.	シリアル番号がある商品の場合、シリアル番号はここに記録される。シリアル番号は共通用語だが、その価格は数値とは限らない。(ある商品を明白に識別する)シリアル番号とロット番号のどちらでも管理することは一般的では

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
						ないが、それら 2 つの番号が相互に排他的である必要もない。
22	Lot_Number	2	TEXT	75	gl-ehm:serialLotNumber is used for either the serial or the lot number, and driven by the attributes of serial or lot.If both are required, the lot number is placed in gl-ehm:nextSerialLotNumber.	ロット番号を表す場合は、ロット番号はここに記録される。ロット番号は共通用語だが、その価格は数値とは限らない。
23	Segment01	2	TEXT	25	gl-ehm:serialLotNumber is used for either the serial or the lot number, and driven by the attributes of serial or lot.If both are required, the lot number is placed in gl-ehm:nextSerialLotNumber.	プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる準備されたセグメントフィールド。
24	Segment02	2	TEXT	25	上記参照	同上
25	Segment03	2	TEXT	25	上記参照	同上
26	Segment04	2	TEXT	25	上記参照	同上
27	Segment05	2	TEXT	25	上記参照	同上

XBRL GLへの追加コメント

固定資産の除却ファイルの場合、追加の必須または推奨フィールドには次が含まれる。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = "other"	XBRL GL のその他の固定リストである列挙値の 1 つではないことを示す。
gl-cor:entriesComment	value = "ads:Fixed_Asset_Removals_YYYYMMDD_YYYYMMDD"	[entriesComment]は情報収集に共通しているものを説明する説明フィールドであり、この表現に関連して収集するタイプの監査データ標準の名前空間と修飾子を導入する。監査データ標準の名前空間はこの監査デー

		タ標準の日付と版に関連する情報を付加して作成される。
--	--	----------------------------

2.4 Fixed_Asset_Depreciation_YYYYMMDD_YYYYMMDD

Fixed_Asset_Depreciation_YYYYMMDD_YYYYMMDD テーブルには固定資産の減価償却金額と使用される償却方法についてのすべての情報が格納される。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
1	Business_Unit_Code	1	TEXT	50	gl-cor:accountSubID with glcor:accountSubType of "Business_Unit"	財務諸表が監査対象となるレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。 Business_Unit_Listing ファイル内の Business_Unit_Code と一致しなければならない。
2	Unique_ID	1	TEXT	25	gl-cor:lineItemCounter	廃棄に関する入力の一意的識別子。
3	Fixed_Asset_ID	1	TEXT	100	For XBRL GL, this isn't a single field; use the Business_Unit_Code and Fixed_Asset_Code's XBRL GL concepts to tie back (need to consider interrelationships with other files)	Fixed_Asset_Master_File_YYYYMMDD 内の有効なエントリである必要がある。
4	Fixed_Asset_Depreciation_Method	1	TEXT	25	gl-bus:dmMethodType	減価償却費の計算方法。
5	Fixed_Asset_Depreciation_Amount	2	NUMERIC		gl_bus:dmAmount	会計期間内に確認される減価償却費。
6	Entered_by	1	TEXT	100	gl-cor:enteredBy	記録を残した人の(User_Listing ファイル内の)User_ID。
7	Entered_Date	2	DATE		gl-cor:enteredDate	取引がシステムに入力された日付。これは、時に作成日と呼ばれ

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
						る。可能な場合、これは、(ユーザが入力した日付ではなく)システムで生成された日付にする必要がある。この日付は、必ずしも、実際の取引の日付に対応していない。
8	Entered_Time	2	TIME		Incorporated into above field using ISO 8601	この取引をシステムに入力した時間。ISO 8601 - 24 時間制の時刻(HHMM)(例えば、PM1:00 = 1300)で表す。
9	Approved_By	2	TEXT	100	gl-bus:entryResponsiblePerson	入力を承認した人の(User_Listing ファイル内の)ユーザ ID。
10	Approved_By_Date	2	DATE		gl- usk:nextDateRepeat	入力が承認された日付。
11	Approved_By_Time	2	TIME		Incorporated into above field using ISO 8601	この取引をシステムに入力した時間。ISO 8601 - 24 時間制の時刻(HHMM)(例えば、PM1:00 = 1300)で表す。
12	Last_Modified_By	2	TEXT	100	gl-bus:enteredByModified	入力を承認した人の(User_Listing ファイル内の)ユーザ ID。
13	Last_Modified_By_Date	2	DATE		gl-usk:lastDateRepeat	入力が最後に変更された日付。
14	Last_Modified_By_Time	2	TIME		Incorporated into above field using ISO 8601	入力が最後に変更された時間。ISO 8601 - 24 時間制の時刻(HHMM)(例えば、PM1:00 = 1300)で表す。
15	Serial_Number	2	TEXT	75	gl-ehm:serialLotNumber is used for either the serial or the lot number, and driven by the attributes of serial or lot.If both are required, the lot number is placed in gl-ehm:nextSerialLotNumber.	シリアル番号がある商品の場合、シリアル番号はここに記録される。シリアル番号は共通用語だが、その価格は数値とは限らない。(ある商品を明白に識別する)シリアル番号とロット番号のどちらでも管理することは一般的では

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
						ないが、それら2つの番号が相互に排他的である必要もない。
16	Lot_Number	2	TEXT	75	gl-ehm:serialLotNumber is used for either the serial or the lot number, and driven by the attributes of serial or lot.If both are required, the lot number is placed in gl-ehm:nextSerialLotNumber.	ロット番号を表す場合は、ロット番号はここに記録される。ロット番号は共通用語だが、その価格は数値とは限らない。
17	Segment01	2	TEXT		XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using gl-cor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and glcor:accountSubType, respectively.Interrelations and hierarchies are captured by gl-cor:parenSubAccountType.	プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる準備されたセグメントフィールド。
18	Segment02	2	TEXT		上記参照	同上
19	Segment03	2	TEXT		上記参照	同上
20	Segment04	2	TEXT		上記参照	同上
21	Segment05	2	TEXT		上記参照	同上

XBRL GLへの追加コメント

固定資産の減価償却ファイルの場合、追加の必須または推奨フィールドには次が含まれる。

要素	内容	コメント
----	----	------

gl-cor:entriesType	value = "other"	XBRL GL のその他の固定リストである列挙値の1つではないことを示す。
gl-cor:entriesComment	value = "ads:Fixed_Asset_Depreciation_YYYYMMDD_YYYYMMDD"	[entriesComment]は情報収集に共通しているものを説明する説明フィールドであり、この表現に関連して収集するタイプの監査データ標準の名前空間と修飾子を導入する。監査データ標準の名前空間はこの監査データ標準の日付と版に関連する情報を付加して作成される。

3.0 固定資産台帳標準データプロファイリングレポート

抽出されるデータの各セットについては、次のテストがデータプロバイダによって行なわれ、監査人によって独立して確認されるべきである。妥当性検証は、データが要求される各期間の間で行なわれるべきである。データ妥当性検証は下記を含んでいる。

テスト	説明
日付とコントロールトータル	
Required files(要求されているファイル)	要求されたすべてのファイルおよびデータフィールドが提供されていることを確認する。
Date ranges(日付範囲)	次の日付における最小値および最大値。 <ul style="list-style-type: none"> Fixed_Asset_Additions_YYYYMMDD_YYYYMMDD <ul style="list-style-type: none"> Entered_Date Fixed_Asset_Removals_YYYYMMDD_YYYYMMDD <ul style="list-style-type: none"> Entered_Date Fixed_Asset_Depreciation_YYYYMMDD_YYYYMMDD <ul style="list-style-type: none"> Entered_Date
Control totals(コントロールトータル)	次の場合におけるレコード数と金額フィールドの合計。 <ul style="list-style-type: none"> Fixed_Asset_Additions_YYYYMMDD_YYYYMMDD Fixed_Asset_Removals_YYYYMMDD_YYYYMMDD Fixed_Asset_Depreciation_YYYYMMDD_YYYYMMDD
完全性と固定資産のロールフォワード	
Fixed asset roll-forward(固定資産のロールフォワード)	すべての固定資産を会計年度の期初から該当期間の期末までロールフォワードする。会計期間の期首日であるFixed_Asset_Master_File_YYYYMMDDで開始し、Fixed_Asset_Additions_YYYYDDMM_YYYYMMDDファイル(例: Fixed_Asset_Additions_20XX0101-20XX1231)とFixed_Asset_Removals_YYYYMMDD_YYYYMMDD(例: Fixed_Asset_Removals_20XX0101-20XX1231)のすべてのトランザクションを適用する。コンピュータで算出した期末の数量を、Fixed_Asset_Master_File_YYYYMMDDでリストされた期末の数量と比較する(例: Fixed_Asset_Master_File_20XX1231)。
データレビュー	
Missing data(欠損データ)	フィールドによって表示された欠損や空白値の数。
Invalid data(不適切なデータ)	フィールドフォーマットの要件に準拠していないフィールドのレコードの数(例えば、日付や時刻フォーマットに準拠していない日付や時間、小数点以下2桁を含まない数値フィールドなど)。

4.0 固定資産 質問事項

次の情報は企業の IT データについての理解および利用に不可欠である。企業の財務管理をその IT 担当者とのコンサルテーションによって行う場合、可能な限り、データが提供されるごとにその項目の各々を管理対象とするべきである。これらの質問は、すべてを含むことは意図しておらず、例示として示されている。このデータ標準を導入する前に、内部統制の利用と職務分離のテストを通じてシステムのデータの信頼度が評価されるべきである。

次の事項を考慮すること。

1. 固定資産データはどの帳簿に関係しているか(例えば、米国会計基準、税、連邦か州か、など)。
2. 経営管理上の減価償却ポリシーはどうか。
3. 現在使用されている減価償却方法は何か。
4. 会計期間を通して、減価償却方法に変更はなかったか。もし変更があった場合、変更履歴の保管場所と保管方法はどうか。
5. 現在使用されている減価償却の慣行は何か(例えば、半年償却、月割償却、四半期償却など)。
6. 会計期間を通して、減価償却の慣行に変更はなかったか。もし変更があった場合、変更履歴の保管場所と保管方法はどうか。
7. 資産の分類による耐用年数の範囲について、経営管理上のポリシーはどうか。